

実践『ペルソナ』通信 (No. 107)

## 「飲み物」に関する調査 Side-*Be*

実践女子大学人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学生を対象に、女子大学生の「飲み物」についてアンケート調査を実施しました。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「統計学科（担当：竹内光悦）」のゼミ生を中心に組織され、実践女子大学生が「自分たち自身」の消費活動、ライフスタイル等を研究する研究会です。

※実践『ペルソナ』通信 Side-*Be*とは、写真観察を行い、実態を考察した調査レポートです。

### 総括

今回の調査結果から、女子大生の半数以上の方が「飲み物を家から持参」していることが分かりました。持参する水筒の中で最も多かったのが魔法瓶、次にペットボトル、プラスチック型といった水筒が多いことが分かりました。飲み物を購入する人と持参している人の共通点として、飲み物の種類が水やお茶が多いことでした。さらに、飲み物の料金を気にする女子大生が多いことが分かりました。

### 調査結果のポイント

#### (1) 飲み物は持参する人の方が多い

多くの方が飲み物を持参しており、水筒の種類で最も多いのが魔法瓶でした。そして、柄などが入っていない単色の水筒を持っている人が多く見られました。

#### (2) 飲み物を購入する人はペットボトルがほとんど

多くの方がペットボトルを購入しており、飲み物の種類は特に水が多くみられました。水の中でのメーカーの偏りはありませんでした。また Hot 専用の飲み物を持参した人はおらず、ペットボトルを購入する場合は Cold 専用を選択することが分かりました。

#### (3) 水筒の中では魔法瓶での持参が多い

魔法瓶で持参する人としては、サイズや形に統一性はないことが分かりました。サイズに関しては小さいサイズから大きいサイズまで幅広く、飲み口の形も回すタイプやボタンで蓋を開けるタイプなど様々な種類の魔法瓶を持参していることが見られました。またデザインについては無地のタイプのものが多く、ピンクや赤といった女子大生らしさのある色や、黒や白といったシンプルな色が多いことが分かりました。

#### (4) プラスチックボトルやタンブラーを持参する人は少ない

ペットボトルや魔法瓶の他にもプラスチックボトルやタンブラーを持参した人もいました。プラスチックボトルに関してはシンプルなもの好まれ、タンブラーに関してはオリジナルグッズやブランドのものとなりました。またタンブラーも色や形が様々でカラフルな印象となりました。

### 調査概要

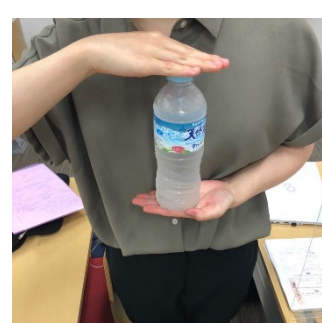
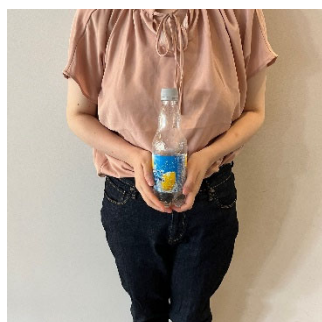
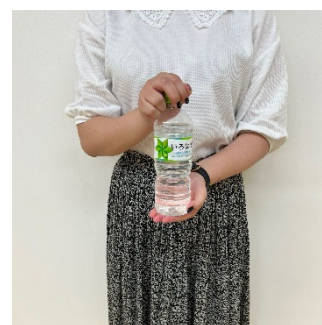
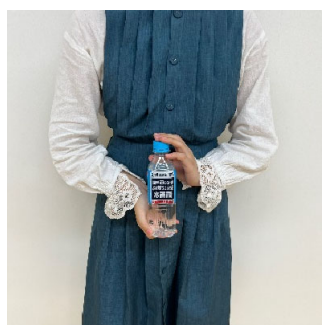
- 調査対象：実践女子大生（全学年、全学部）
- 調査方法：フィールドワークによる写真撮影および対象者観察
- 調査期間：2022年7月
- 調査場所：実践女子大学

### 調査担当者

実践『ペルソナ』研究会 川崎梨恵・菅又彩花・山口瑞友

### 写真

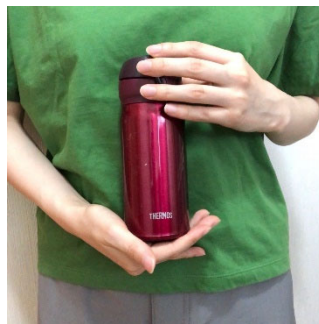
#### 【ペットボトル】



【プラスチックボトル】



【魔法瓶】





【タンブラー】



## 編集後記

今回の調査を通じてペットボトルをコンビニや自動販売機といったどこでも買えるような現代においても、マイボトルの持ち込みが多く、需要も高いことが分かりました。A面調査結果より、女子大学生は節約志向が強いことからマイボトルを持参する傾向にあります。女子大生は飲み物の種類はダイエットなどを意識した選択はせず、自身の好きな飲み物を選ぶことが分かりました。

新型コロナウイルスの影響により、対面授業とオンライン授業といったハイブリット型授業の中でもたくさんの方々のご協力により、本調査を無事終えることができました。今回の調査の反省点を今後に生かし、より良い調査・分析を心がけていきたいと思えます。

改めて調査にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。